

令和4年度 入会要項

律志舎 本町教室
(高校部・私立中高部・既卒部)

対象: 高校生, 私立中学生(主として高校の内容の学習指導), 公立中学生(要相談, 自律学習のできる生徒)

————— <A> 年間日程 (概略) —————

1. 新年度の授業開始 令和4年4月1日(金) [令和5年3月下旬をもって, 令和4年度は終了]
2. 春休み, 夏休み, 冬休みは平常時と時間割(主として開講時間帯)が変わります。
3. 日曜, 祝祭日は原則として休みとします。夏季, 年末年始, 春季に一定の休業期間(数日~1週間)があります。
(ただし, 祝祭日が同一教科の曜日に多く, 回数が十分確保できない場合 振り替えまたは祝祭日開講で対応します。)

————— 会員登録手続き —————

1. 新会員の場合 ⇒ 入会時に登録簿の提出と入会金・授業料の納入をしていただきます。
 - ※ 入会金は受講の選択方式にかかわらず一律 10000円
 - ※ 学習体験(1ヵ月間)の場合には, まず登録簿を提出していただき, 授業料のみ納入していただきます。
体験開始から1ヵ月後に継続を希望された場合に, 入会金を納入していただくことになります。
 - ※ 入会金が必要ない場合・・・元会員生の復会。川崎塾グループの教室の卒業生。
 - ※ 入会金が半額の場合・・・兄弟姉妹が川崎塾グループの教室に在籍している場合。
 - ※ 期間限定のキャンペーン中など入会金が減額される場合があります。期間中であれば適用した金額で請求します。
2. 川崎塾グループ内の中学部から本町教室への再所属の場合 ⇒ 登録簿のみを提出。(再度の入会金は不要)
3. 他学習塾とのかけもちは原則ご遠慮ください。(過剰な負担と学習方針の多重化・混乱につながります。)
 - ※ 状況(単科の個人塾との併用等)により応相談となりますので, かけもちになる場合, 事前に必ず申し出てください。

————— <C> 受講日数選択制時間割 —————

1. 別途配布の平常時間割表から, 自分が受講を希望する曜日・教科を選択してください。
 - ※ 受講日数の選択(曜日, 科目, 時間)は途中で変更することも可能です。利用時間の上限はありません。
 - ※ 1回あたり2時間の学習時間を確保してください。その上で他教科の自習, 選択している他科目の質問は可とします。
 - ※ 同じ時間帯に人数が集中した場合には, 出席の際の指導可能な時間を調整してもらう場合があります。
 - ※ 部活等で出席時間が充分取れない(2時間未満になってしまう)生徒の選択方法・授業料については相談してください。
2. 欠席をする場合は必ず連絡をするようにしてください。
 - ※ 原則, 連絡があった場合(理由があれば後日でも可)のみ, 同一教科に限って他の曜日で振替を取ることができます。
 - ※ 無断欠席が続く場合, 休会の措置を取ったり, 退会を勧告することがあります。
3. 平常授業時間割・・・別紙の平常時間割表を参照。選択教科数により優遇措置が受けられる場合があります。

————— <D> 授業料・納入方法 —————

1. 授業料(平常授業 月一金)
授業料は, 学年にかかわらず,
1週あたりに受講する回数
によって決まります。(右表参照)

月謝額 (税込)	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回
	8800円	14850円	19250円	22550円	25300円

※ 在籍満36ヶ月以上 → 週5回でも上限22550円とします。

本町教室の土曜日の運用, 特別授業については別途配布するお知らせを参照してください。

- ※ 同一家庭から兄弟姉妹が同時に在籍する場合, 低い方の授業料を半額とします。【通常月謝のみに適用】
 - ※ 夏季・冬季の長期休みは, 時間量・選択時間帯に応じて料金が加算される場合があります。
「特別企画の一斉形式授業」を行う場合, 受講者は別途授業料が必要となります。
 - ※ 高3受験生に関しては, 大学入学共通テスト対策用に使用する共通教材の費用を別途負担していただく場合があります。
 - ※ 週4回以上選択時に振替の消化ができない場合, 減額措置は原則行いません。個々のケースによりご相談ください。
2. 納入方法・・・前月24日頃から, 「授業料のお知らせ」を封筒に入れて各生徒に手渡します。そちらに記入された該当月の納入金額を, 前月25日から当月5日までに所定の銀行口座(「授業料のお知らせ」中に記載)へ振り込んで下さい。尚, 毎月5日を過ぎて納入が確認されない場合は, 10日までに当方より連絡する場合があります。

————— <E> 教材・その他の事項 —————

英語・数学・理科(物理, 化学, 生物)ともに, 学校で使用している教材(教科書, 問題集等)を持参して下さい。生徒の学習進度・理解度によっては学校使用以外の教材を指定したり, 当方で用意したりする場合があります。高3生以外は①学校課題の消化と理解, ②先取り学習, ③受験対策用の復習の優先順位での学習を強く推奨します。高3生は第一志望校や受験形態(一般・推薦), またその実力に応じて学校以外の教材の購入を薦めることがあります。高校受験を要する国公立中学生の場合, 教材を当方で指定または準備致します。(教材費は規定に準じます。)各生徒の状況についての認識を共有することを目的として定期的な保護者面談を年に2回行う予定ですが, 相談されたい事が生じた場合には, いつでも対応しますのでご連絡ください。